



—連載（第65回）—

英会計当局、会計監査業界の改善に向けて権限を強化した新当局ARGAに移行するか

■ 1. はじめに

英国政府は2016年以降に英国大手企業で起きた一連の会計スキャンダルと、それを受けてFTSE100構成銘柄が低迷を継続していることを考慮し、英国会計市場の大幅な改善を行うことを決定した。

その改善計画の一環として、英国の会計規制当局である英財務報告評議会（FRC）がさらに強化された権限を有するAudit, Reporting and Governance Authority（ARGA）に移行する予定であった。ARGA移行企画の発表は、2019年3月に行われ、どのような当局かをまとめる詳細な提案は2021年3月に公表されている。当初の予定ではARGAへの完全移行は2023年であったが、2024年に入った現時点でも、実行の明確なスケジュールは未だに示されていない。

英スナク首相は英国の監査法人業界における競争不足（英国ではビッグ4と呼ばれる監

査法人4社によるビジネス占有率が高い）や適正な会計報告を保証する環境が欠落していることに対する懸念が継続して示されているにもかかわらず、英国金融市場の競争力を高めることを優先し、上場要件の緩和にその政策は注力している状態である^(注1)。英国大手企業の数々のスキャンダルを背景に、健全な金融市場を維持するための会計報告義務の適切性への懸念が高まる中、本稿では、英国の会計監査業界の現状を考察し、今後数年間にどのような発展が予想されるかを検討、報告することとした。

なお、本稿に記載した内容はすべて筆者個人の見解であり、筆者の所属する組織としての見解を示すものではないことをお断りする。



■ 2. 会計規制当局の監督は緩く、市場は四強による独占状態

英国大手企業であるBHS（2016年）、Carillion（2018年）、Patisserie Valerie（2019年）といったLSE上場企業の不適切会計を受けた経営破綻により、英国政府はFRCによる現在の監督環境の見直しを命じ、専門家にいくつかのレビューを依頼した。

レビューの一つは、Legal & General会長のSir John Kingman^(注2)氏、もう一つはSage Group元会長のSir Donald Brydon氏^(注3)によって主導され調査が行われた。その結果、①FRCによる不正行為に関する調査が遅すぎる、②その制裁が緩すぎる、③FRC理事会と監督する業界の関係が近すぎる、④3つの大きな問題として両方のレビューによって報告された。また、FRCによる権限施行の対象範囲に関しても、現状ではFRCが権限を施行できるのは、公認会計士協会のメンバーである会計監査人のみであり、取締役などの責任者には（その取締役が公認会計士協会のメンバーでない限り）その権限が及ばないことが報告されている^(注4)。これを受けてFRCの権限施行範囲も、その法律改訂に関してコンサルテーションに含まれることになった。

さらにレビューでは市場競争に関しても、英国会計監査業界は寡占状態にあり、

FTSE350企業の監査の約97%が「ビッグ4」と呼ばれる大手監査法人（デロイト、EY、PwC、KPMG）によって行われていることについて警告を発している。

この対策案として両方のレビューで提案された事項は、当局が裁判所への申請なしで企業への情報請求を可能にすること、必要に応じて当局が企業に迅速に制裁を科すことのできる権限を推薦した。また年次報告書などに関する企業報告レビューの中で、英国企業報告の質とその有用性の向上につながる権限が強化された新たな当局の設立が推奨された。

この調査結果を受けて、FRCは新当局設立とその移行計画を2019年5月からFRCの予算案とその戦略的優先順位に組み入れた。

■ 3. 2024年におけるFRC活動の現状

2019年5月以降、FRCの年次戦略に新規制当局ARGAへの移行計画は含まれ続けているが、英国議会開催中に協議される項目を読み上げる、「国王演説」において当該の計画が含まれたことは未だにない。「国王演説」は議会開催期間に協議される英国政府の立法課題を明らかにする重要な演説であり、今回の2023年度の項目にARGA計画が含まれていなかったということは、具体的に計画が再び始動するまでには少なくともあと1年かかることを意味する^(注5)^(注6)。

最近のFRCによるその他の活動としては、



かねてから注目されていたコーポレートガバナンス改革計画の最終決定とその公表が挙げられる。

当初FRCは多様性報告義務、監査委員会に環境、社会、ガバナンス（ESG）問題に対する新たな責任を与える計画、取締役会による株主エンゲージメントに関する提案など多くを盛り込んでいたが、実際に発表された改革では、これらの項目はすべて撤回され、かなり緩和された内容となった。

上記以外にも、企業が財務的な危機に陥ったときの回復力について年次報告を行うという提案や分配可能利益の報告に関する規則計画も最終的なコーポレートガバナンス改革計画には含まれなかった。

FRCの新CEOであるリチャード・モリアーティ氏が、これら項目を撤回した最終的なコーポレートガバナンスコード改革を発表したが、この内容は英国市場の現状について投資家を安心させるには至らなかったようである^(注7)。実際にICGN（International Corporate Governance Network）などは、この緩和された改革内容に対して、「コーポレートガバナンス基準の健全性、さらには英国の資産への投資に対する投資家の信頼を損なうリスク」を生じると警告を発している。

今回発表されたコーポレートガバナンスコード改革計画の最終案は、元々見直しのきっかけとなった、英国大手企業の不適切会計による経営破綻で指摘された問題点に厳格に対応する当初の提案をかなり緩和したものであ

り、企業会計の厳格化という目的を達していないとの見方が示されている。FRCのコーポレートガバナンスコード改善の発表の際に、モリアーティ氏が表明したスタンスにおいても、企業が（自主的に）内部統制の設定を行う様に促し「Comply or Explain」ベースを維持しながら、企業が会計問題に関して当局とプロアクティブにかかわることを期待しているとコメントし、当局による厳格な監督というよりは企業による自主性を促すものであった。

■ 4. 英国議会下院のビジネス・取引特別委員会でのさらなるコメント

3月26日、リチャード・モリアーティCEOは監査改革の推進について英国議会下院（House of Common）のビジネス・取引特別委員会で答弁した^(注8)。

下院での答弁においてモリアーティ氏は、数々の英国大手企業の不適切会計による経営破綻を受けて、2020年にすでに早急に改革が必要であると警告が発せられていたことを認識している述べている。しかしその一方で改革を可能にする法案は2023年10月に撤回され、ARGA設立は国王演説に含まれることはなかった。

モリアーティ氏は資金の問題と規制当局の権限と制裁能力の「深刻な欠如」を挙げ、他のセクターの監視機関と歩調を合わせるため

のさらなる権限を求めた。同じセッション中にケビン・ホリンレーク企業市場大臣は、政府はARGAの設立に反対ではなく、「時間があれば法制化することに熱心である」とコメントし、ARGAの設立が英国政府の議題の優先事項ではないことを示唆した。

政府は、英国市場の活性化を優先事項として設定し、迅速な上場を目指し、面倒な手続き削減するとともに^(注9)、FRCは、企業の内部統制を重視した見直しを実施するなど、よりリベラルなアプローチを選択しており、企業により責任を持たせる方針を表している。

■ 5. 終わりに

国王演説、2023年秋予算、2024年春予算を通じて英国政府と規制当局が示した項目においては、英国政府が念頭に置く最優先事項は、英国株式市場の活性化と、多くの英国企業が米国への上場を選択する傾向に歯止めをかけることであると見られる。これを受けてARGA設立に関しては、新たな会計スキャンダルが発生し、再度FTSE構成銘柄にダメージを与えるような事件が起こらない限り、優先順位は低いままとなり進捗は期待できないと推測される。次回の国王演説を注視しながら、この点における変化を引き続き調査していくこととする。

(注1) <https://www.fca.org.uk/publications/consultation->

[papers/cp23-31-primary-markets-effectiveness-review-feedback-detailed-proposals-listing-rules](https://www.fca.org.uk/publications/consultation-papers/cp23-31-primary-markets-effectiveness-review-feedback-detailed-proposals-listing-rules)

(注2) <https://www.gov.uk/government/news/independent-review-of-the-financial-reporting-council-frc-launches-report>

(注3) <https://www.gov.uk/government/publications/the-quality-and-effectiveness-of-audit-independent-review>

(注4) <https://www.frc.org.uk/library/enforcement/enforcement-overview/>

(注5) <https://uk.finance.yahoo.com/news/frc-waters-down-governance-overhaul-154102546.html>

(注6) <https://lordslibrary.parliament.uk/kings-speech-2023-research-and-resources/>

(注7) <https://www.ft.com/content/b4c1551c-a28f-4ae3-bfe4-705f34a15f0c>

(注8) <https://committees.parliament.uk/event/21150/formal-meeting-oral-evidence-session/>

(注9) <https://www.gov.uk/government/news/prime-minister-to-announce-major-reform-package-to-boost-apprenticeships-and-cut-red-tape-for-thousands-of-small-businesses>

